

障がい児者施設における歯科保健に関するアンケート調査結果概要

1 調査対象 障害者支援施設31か所

障害児者入所施設8か所（福祉型障害児入所施設4か所、医療型障害児入所施設4か所）

※回収率 27施設/39施設（69.2%）

2 調査項目 歯科健診等の実施状況、協力歯科医療機関の有無、口腔ケアの実施状況等

3 調査時期 令和4年12月22日（木）～令和5年1月16日（月）

4 調査結果

○利用者が定期的に歯科健診を受ける機会は、70.4%であった。（図1）

○協力歯科医療機関がある施設は、92.6%であった。

○利用者の口腔ケア、食事支援等について、「常に困難」、「しばしば困難」は合わせると48.1%であった。（図2）

○施設職員が定期的に専門職（歯科医師、歯科衛生士）から口腔ケア等について、研修等を受ける支援を受ける機会は55.6%であった。（図3）

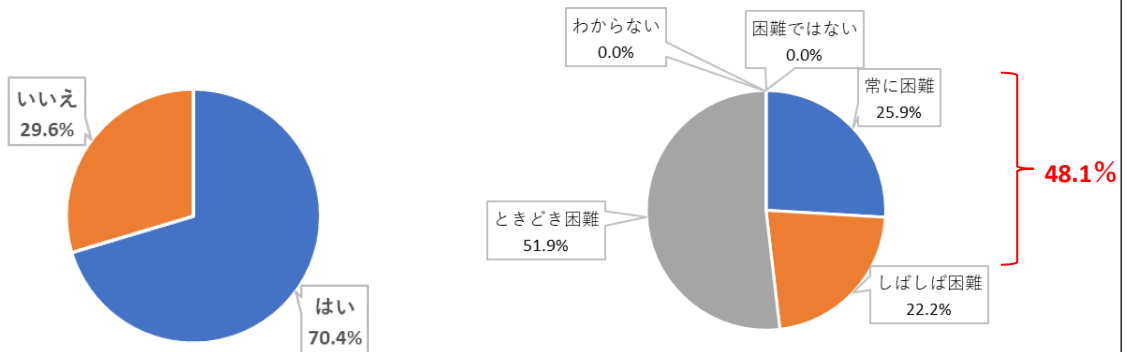


図1 利用者が定期的に歯科健診を受ける機会

図2 利用者の口腔ケア、食事支援・介助が困難（複数回答）

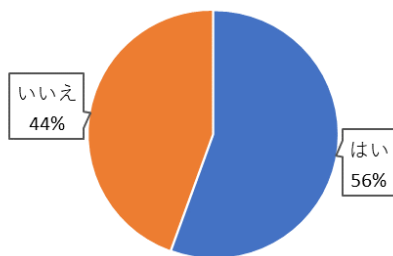


図3 施設職員が定期的に歯科医師や歯科衛生士から口腔ケア等について研修や技術的支援を受ける機会

5 参考

歯科口腔保健の推進に関する基本的事項（障がい者・障がい児者）

- ・障害者支援施設及び障害者入所施設での定期的な歯科検診実施率の増加
最終評価（直近値）77.9%（令和元年） 目標値 90%（令和4年度）